

目指すべき中山道今須宿周辺像について

2026年3月
中山道今須宿周辺検討会

1 本検討会を立ち上げた経緯

- ・今須宿問屋場（旧山崎家住宅）（以下、「問屋場」という。）が町有形文化財に指定（R7.2）された今、地元関係者との協議を踏まえた問屋場保存活用ビジョンが策定（R8.3）され、それを基に保存修理及び活用整備の実施、R9年度の開館が目指されている。
- ・問屋場を中山道今須宿周辺の核として位置づけ、令和7年7月より本検討会にて周辺像の検討を開始、議論を踏まえたとりまとめを実施。

中山道今須宿周辺像の検討等の位置づけ

マスタープラン（今須地区）

問屋場保存活用ビジョン

- ビジョン策定の沿革と目的
- 今須宿問屋場の概要
- 現状と課題
- 基本方針と計画期間
- 保存管理（改修含む）
- 活用
- 運営・体制の整備
- 事業計画

中山道今須宿周辺像検討

- 経緯
- 本検討会のねらい
- 目指すべき中山道今須宿周辺姿の実現に向け、重点的に推進する取組み
 - (1) 住民等の活動拠点づくり
 - (2) 中山道周辺観光の更なる充実
- 中山道今須宿周辺 -20××年の姿-
- 中山道今須宿 将来のまちの姿
- 今後の進め方

町関連計画

- ・町総合計画
- ・ひと・まちづくり総合計画
- ・過疎地域計画
- ・マスタープラン（全体）

検討体制

文化財保護審議会

- 問屋場保存活用ビジョン等について調査審議
【構成員】有識者等7名

中山道今須宿周辺検討会 (R7年7月設置)

- 目指すべき中山道今須宿周辺像の検討、取組みの推進及び進捗管理
【構成員】地域住民等10名程度
(うち審議会委員、IT0等)



関ヶ原町

問屋場保存活用
ビジョン策定

地域住民等
意見聴取



町議会

問屋場保存活用
ビジョンの協議

2 本検討会のねらい

- ・今須宿周辺像について意見交換、今後の目指すべき方向性、その実現に向けて「皆が取り組むこと」を共有。
- ・本検討会で取扱うテーマは幅広いが、「今須宿周辺のまちづくりに焦点を絞り、当面皆が取り組むべき事項」を中心に意見交換。

視点（主なもの）

《今須エリア（地域拠点）のまちづくり方針》

○“今須”の地域資源を活かした地域住民の活動拠点づくり促進

- ・地域コミュニティの活用、居住人口や関係人口を増やす取組みを支える拠点として旧今須小中学校をはじめとする既存ストックの活用

《問屋場の保存活用》

○歴史的建造物として保存管理及び活用、同意義を次世代へ継承

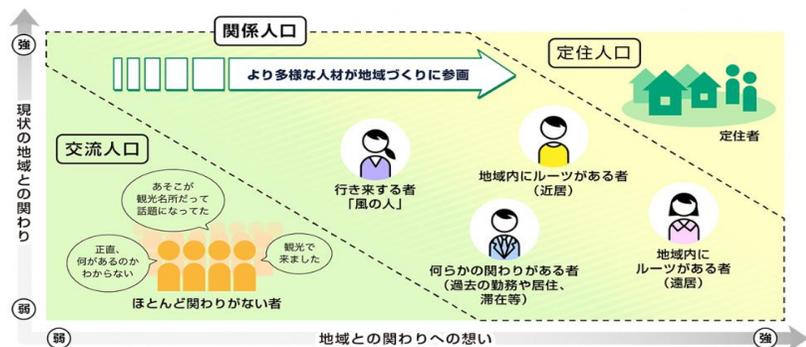
- ・保存だけでなく、今須地区の拠点として町民や観光客に向けた公開活用

《人口減少問題への対応（町総合計画抜粋）》

○少子高齢化など人口構造の変化に対応し、笑顔で暮らせる地域をつくる

- 観光・交流の振興を図り、移住定住を促し、まちの活気を創出
持続可能なまちづくりのため、今須地区の関係人口増加も目指す

関係人口の概念図



出典：総務省ホームページ

皆が取り組むべき事項（主なもの）

《今須エリア（地域拠点）のまちづくり方針》

○旧今須小中学校の更なる活用

- ・遊び場やカフェなどの地域交流スペース
- ・農産物など今須のものを販売
- ・教室のレンタル、自然体験の宿泊施設
- ・個人事業主など民間事業者の事務所

ITOが中心となって既に取り組んでいるものあり

《問屋場の保存活用》

○地域内外からの集客

- ・今須宿全体のPR、地元とのコラボレーション
- ・皆が集う場所となる仕掛け
(自治会寄合、カフェ、ワークショップ等)

《人口減少問題への対応》

○母親となる若い世代の女性自体の減少を抑制する取組み

- ・女性や若者にとっての魅力的な職場確保、起業支援
- ・製造業など地元企業への就業支援

○安心できる支え合いの仕組みづくり

- ・日常生活支援体制の充実、各種活動ができる居場所確保

○地域活動の活性化

- ・特色ある地域づくりへの支援

○観光・交流から関係人口、移住・定住人口の拡大

- ・今須杉等に触れる農林業体験機会提供を通じた今須ファン増加
- ・今須宿から東西へ横断する中山道を軸とした観光の更なる充実

○移住・定住対策の推進

- ・U・Iターン支援、空き家バンク制度の充実・周知
- ・移住者の受入（人があたたかく話しやすい）

3 目指すべき中山道今須宿周辺像の実現に向け、重点的に推進する取組み

(1) 地域住民等の活動拠点づくり

<基本的方向性>

- ・今須地域の振興に関する懇談会(R元.7.1設置)より、同地域の振興と今須小中学校等施設の利活用に関する提言(R2.12.2)、その後、今須小中学校閉校(R3.3.31)。
- ・上記提言では具体的な利活用として、「地域の心の拠り所」、「地域コミュニティの中核」、「外部(他の地域)との交流を整理。
- ・提言の具体化にあたって、町はIT0が中心となって取り組んでいる旧今須小中学校の利活用への継続支援はもとより、更なる利活用について検討を進める。

《当面の取組み事項(一例)》

- ・遊び場やカフェなどの地域内外の交流スペース充実
- ・農産物(今須)販売、地域の歴史展示の充実
- ・学び(昭和から令和までの授業風景等)の変遷に係る展示

《中長期の取組み事項(イメージ)》

- ・民間企業(起業含む)活用による関係人口の増加
- ・敷地や建物の適切な修繕・改修の実施

(2) 中山道周辺観光の更なる充実

<基本的方向性>

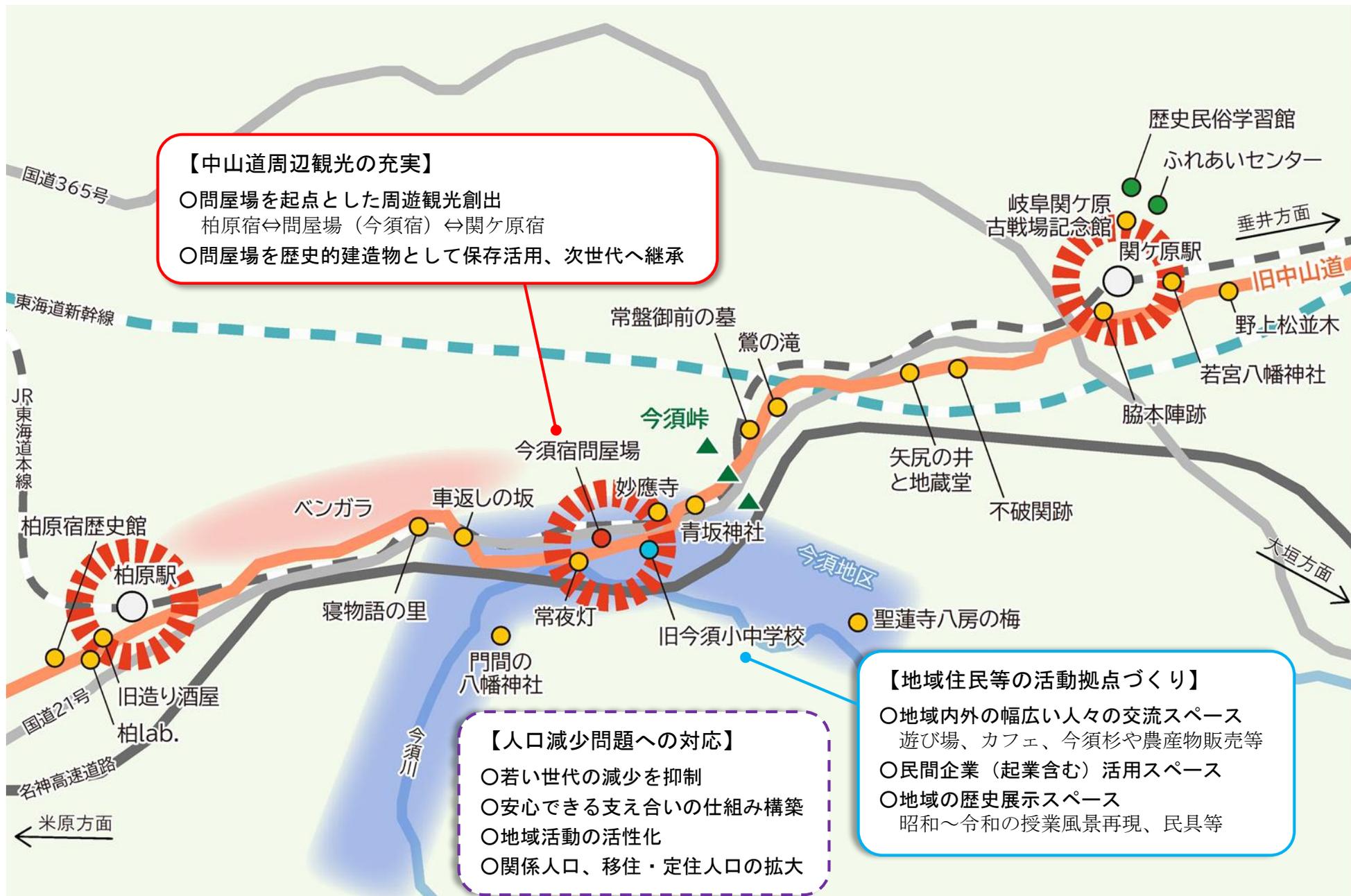
- ・問屋場を町有形文化財に指定した今、町は問屋場の**保存**だけでなく、今須地区の拠点として町民や観光客に向けた**公開活用**に向けた取組みを推進する。
- ・また、問屋場を中山道今須宿周辺の核として位置づけ、今須宿周辺の目指すべき方向性、その実現に向けた取組みを整理、順次推進する。
- ・町内の関ヶ原宿はもとより、古くから同地域としてつながりの深い柏原宿との連携を通じた広域観光も推進する。

《当面の取組み事項(一例)》

- ・問屋場の耐震補強(保存)、展示内容(公開)の検討
- ・今須宿及び柏原⇄今須⇄関ヶ原宿の広域マップ作製
- ・今須宿を中心とした周遊商品造成・販促

《中長期の取組み事項(イメージ)》

- ・県の支援(県文化財指定)も得た持続可能な問屋場管理
- ・今須宿周辺を時代別に分けた記録整理(例:写真)



【中山道周辺観光の充実】

- 問屋場を起点とした周遊観光創出
柏原宿⇄問屋場（今須宿）⇄関ヶ原宿
- 問屋場を歴史的建造物として保存活用、次世代へ継承

【地域住民等の活動拠点づくり】

- 地域内外の幅広い人々の交流スペース
遊び場、カフェ、今須杉や農産物販売等
- 民間企業（起業含む）活用スペース
- 地域の歴史展示スペース
昭和～令和の授業風景再現、民具等

【人口減少問題への対応】

- 若い世代の減少を抑制
- 安心できる支え合いの仕組み構築
- 地域活動の活性化
- 関係人口、移住・定住人口の拡大



4 今後の進め方

- ・ 中山道今須宿周辺像の具体化には町、IT0を含む地域住民及び関係者が力を合わせて各種取組みを推進する必要がある。
- ・ 短期的から中長期的なものまで幅広い取組みがあることを踏まえ、ロードマップ作成による進捗管理を図り、着実な進捗を図る。
- ・ 社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて目指すべき中山道今須宿周辺像の見直しを図るとともに、これまでの進捗を検証する。

ロードマップ（イメージ）

取 組 み	実施主体	R8	R9	R10	R11	R12
1) 地域住民等の活動拠点づくり						
旧今須小中学校関連						
民間企業活用スペース提供		試行 (地元候補企業と調整)		本 格 運 用 (試行結果を踏まえたもの)		
民具、人間将棋等の展示		常 時 展 示				
2) 中山道周辺観光の更なる充実						
問屋場の保存・活用						
問屋場の周知		限定公開（春・秋中心）	町民を対象とした歴史講座	活用（歴史講座・子ども会・自治会寄合・WS等）		
		町広報誌・SNS・PR冊子によるPR				
問屋場を起点とした周遊観光						
今須宿中筋及び柏原宿⇄今須宿 ⇄関ヶ原宿広域マップ作製 ※既存資源洗出含む		企画検討	マップ作製・配布を通じた周知			